

1. 業務効率化編



業務を可視化し効率的に！！

①課題

- ①職員間で仕事量が把握しにくい。
- ②個人の作業をする時間が少ない。

②原因

- ①全体の仕事ボードが上手く活用されていない。
- ②個人の作業よりも全体の作業が優先されがちである。

- 保育園名 松島りすの森保育園
- 所在地 福岡市東区松島2-10-7
- 定員 120名
- 職員数 33名



③打ち手

- ①LINE WORKSで個人の仕事量、タスク管理を行えるようにする。
- ②朝礼で職員の配置管理を、全体ボードで行う。
- ③ノンコンタクトタイム（個人orクラス）を可視化する。

④取り組みの成果/感想

- ① LINE WORKSでクラス・個人のタスクを“見える化”することを試みたが、タスクを打ち込む手間もある為、試行錯誤中である。
- ② 全体ボードで、配置に余裕がある時にクラス間で話し合い、個人・クラスの仕事を効率よく行うことが出来るようになってきた。
- ③ ノンコンタクトタイムをシフトに組み込み、“見える化”を試みた。気兼ねなく自分の仕事に取り組めるとい声があがる反面、均等に割り振るのは難しい面もある。



すぐ見直し、すぐ改善！

①課題

- ・早出の勤務が2人では難しい。

■保育園名 **大井保育園**
■所在地 **博多区大井2丁目7-12**
■定員 **140名**
■職員数 **38名**



②原因

- ・以上児が集中して遊べる玩具が少ない。
- ・こどもの受け入れや見守りをする中で、排泄の対応をしないといけない時がある。
- ・7時30分から8時までの間のこどもが多い中でサポート、0歳児もいる。
- ・0歳児の活動量が増え、何度も遊ぶ空間からでていき危険である。
- ・人数に対しての部屋が狭い。

③打ち手

- ・未満児が誤飲しない以上児の玩具を増やす。
- ・密集を避ける為に以上児と未満児の遊ぶスペースを分ける。
- ・7時半からの職員を増やす。
- ・部屋の環境を変える。受け入れ口と保育スペースを近くにして行き来がしやすいようにする。
- ・パーティションを増やし、保育者のみ出入りできるようにする。

④取り組みの成果/感想

- ・職員からの早出の困り感を出して共有することでそれぞれの保育の見守り方の工夫を知ることができた。
- ・以上児と未満児の子どもを分けることによりそれぞれが落ち着いて過ごせている。
- ・当たり前に行っていることを改めて見つけ直し改善へと繋げていける良い機会となった。
- ・今後も職員配置や園の統一した内容を明確化して改善していく。

やりたいこと（保育）を実現するために！！

①課題

- ・ 業務が多く、やりたいこと（保育）があるのに実現できない

②原因

- ・ 後半期になり、在園児数が増えることで話し合う時間が取りづらくなる。
- ・ 十分な話し合いが出来ず、行事準備のスタートが遅くなる。
- ・ 土曜日の登園児数が増え、作業できる時間が減る。

- 保育園名
キッズ・キッズ保育園 博多
- 所在地
福岡市博多区博多駅前
2-12-3-2F
- 定員 19名
- 職員数 12名



③打ち手

情報共有(見える化)をし、すきま時間を有効活用する

- ・ 会議等の話し合いを待たずに出来るものは協力して進めていく。
- ・ 個人(クラス別)の年間スケジュールに作業期間を加え、作業スタート時期を周知する。
- ・ 朝の園児が少ないすきま時間に作業をしたり、土曜日出勤の給食職員に協力してもらい、作業を進める。

④取り組みの成果/感想

課題を出し合い、「解決できそうなこと」「すぐには解決できないこと」をグルーピングすることで、話の方向性が不満ではなく解決できる方法を探す話し合いができた。話し合いの中で「これならできる!」「できたら助かる!」「楽になる!」などの言葉がでながら、たくさんの意見が出たのは一番の収穫だと思う。子どもたちのお昼寝の時間を使い、1時間ちょっとの話し合いで、課題が整理できたこと、解決案が決まったこと、共通確認ができたことが良かった。ここで決まったことを実践することでみんなで改善していくことができるということを体験し、そのルーティンを構築していきたい。

『アプリの活用！』

①課題

- パソコンが難しく書類作成に時間がかかる
- ◎行事前の休憩が短くなってしまう

②原因

- フォーマットの作成に時間がかかり負担になっている
- ◎業務量が多い（大きな行事2つ）
 - 【日常】掃除、備品の補充、書類（月末）、遊び、環境設定 等
 - 【行事前】打ち合わせ、報告、書類（計画案等）準備物の確認（各係の仕事）
- ※大きな行事（運動会・発表会）前になると、誕生会等其他の行事と同時進行になる時もありどうしても業務量が増えてしまう
- △休憩の取り方（各クラスで違う 時間等）

- 保育園名 あゆみらい保育園
- 所在地 西区拾六町1丁目20-1
- 定員 140名
- 職員数 40名



③打ち手

- ◎行事の業務内容の見直し（削減）
 - LINEWorksの活用（お知らせ、記録等）
- アプリ（キッズビュー）で全クラスのフォーマットを統一する
 - 写真の入れ込みとコメントの入力のみになる

④取り組みの成果/感想

- 書類作成（クラス便り）は写真の入れ込みとコメント入力のみになったので、時間削減出来た
- 休憩時間が増えた（30～45分）
- 休憩だけでなく、日頃の遊びや環境設定について考える時間も増えた
- 休憩時間に仕事をする職員もいる為、ゆっくり身体を休める時間にできればよりいい

計画的行事準備で業務を分散

①課題

- ・業務量が多い
- ・ノンコンタクトタイムが取れない

■保育園名 飯盛保育園

■所在地 西区大字飯盛534

■定員 200名

■職員数 45名



②原因

【行事が多い】

大きい行事に加え、小さい季節行事が多く、年間通して準備や作り物が多くなっている。

⇒業務の進み具合が気になり、ノンコンタクトタイムや休憩をとる気持ちの余裕がない

【行事や業務内容が慣例化されている】

園児数の増加や職員数、勤務形態の変化によって業務負担が重くなっている部分がある。

③打ち手

- ◎行事内容の見直し
園児数や気温等の環境の変化に応じて、内容が適切かどうかを検討していく
- ◎年間通して計画的な行事準備
 - ・作業内容、必要な作り物を一覧として視覚化
 - ・作業分担の明確化
- ◎定期的な倉庫整理

④取り組みの成果/感想

- ・今まで保育者のみで進めていた作業の一部を保護者をお願いしたり、園児と保護者で行う行事に変更したことで、保育者の負担も減り、合わせて子どもたちの新しい楽しみに繋がったと感じた。
- ・今年度の初めから新しく変更した作業については、デメリットもあるかもしれないが取り組むべきものだとして改めて感じた。
- ・他園との情報の共有が出来たことで、自園の業務軽減方法を具体的に知ることが出来た。
- ・手間や時間をかけることを重視しがちだが、より効率的かつ効果的に保育を行うためにICT化を積極的に取り入れたい。